

## 「人を対象とする生命科学・医学系研究についての情報公開文書」

**研究課題名：**初めて父親になる夫が妻の妊娠中に感じる困りごと～  
夫の困りごとと夫婦の属性との関連・特徴の検討～

### ・はじめに

近年は共働き世帯の増加や女性の社会進出に伴い、妊娠・出産・育児を核家族内で行うことが増えてきています。従来は「女性は家庭・育児、男性は仕事」と言われていましたが、女性・男性共に働き、共に育児を行う「共働き・共育て」が謳われるようになりました。

妊娠に伴う身体的変化のある女性と異なり、男性は妊娠・出産・育児や胎児へのイメージをしにくいことが言われています。そのため、妊娠期から男性が父親意識を育めるような支援が必要であることも分かっています。しかし、夫に関する情報不足や支援の実施機会が少ないことから、父親支援に困難感を抱きながら実施している看護者が多くいることが分かっています。

本研究では、初めて父親になる男性が妻の妊娠中にどのような困りごとを感じているのか、夫婦の年齢などとの関連性を明らかにし、看護者が父親となる男性に対してより充実した支援を提供できるようになればと考えております。

こうした研究を行う際には、人の健康に関する情報（「情報」といいます）を用います。ここでは、すでに保管されているこうした情報の利用についてご説明します。

### ・研究に用いる情報の利用目的と利用方法（他機関に提供する場合にはその方法を含みます）について

本研究では、過去に実施した試験番号：HS2024-304『初めて父親になる夫が感じる妻の妊娠中の困りごと』についてのWEBアンケートの結果を二次利用します。結果として得られた夫の困りごとと、年齢や妊娠週数などの夫婦の属性との関連性や特徴を抽出・分析し、夫の困りごとについて考察することを目的としています。

### ・研究の対象となられる方

長野県諏訪市諏訪赤十字病院、長野県諏訪市あおぞらレディス&マタニティークリニック、長野県諏訪郡下諏訪町諏訪マタニティークリニック、長野県茅野市諏訪中央病院、長野県茅野市平岡産婦人科において、2025年6月1日から2025年11月30日までに、妊婦健診や両親学級に参加された夫およびその配偶者のうち、試験番号：HS2024-304『初めて父親になる夫が妻の妊娠中に感じる困りごと』

と』に関する WEB アンケートにご回答いただいた方を対象といたします。

本研究では、過去に実施したアンケート結果を二次利用します。当該アンケートは、Google フォームにより匿名で収集されたものであり、氏名、メールアドレス、IP アドレス等の個人識別情報は取得しておりません。研究者は回答者個人を特定することはできません。

なお、妻に関する基礎情報（年齢、健康状態、就労状況など）および胎児の健康状態に関する質問については、調査実施時に「妻の同意を得てから回答してください」と明記していました。

このため、研究への参加を希望されない旨のお申し出があった場合でも、該当する回答データを特定し削除することができません。何卒ご理解くださいますようお願いいたします

#### ・研究期間

研究を行う期間は学部等の長の許可日より 2029 年 3 月 31 日までです。

情報を利用又は提供を開始する予定日は 2026 年 5 月です。

#### ・研究に用いる情報の項目

下記の情報は、調査実施時に夫の同意および妻の同意確認のもとで取得されたものです。妻に関する情報は、夫を通じて取得した基礎情報に限定されています。データはすでに収集・Excel でテキスト化されている下記のを対象として使用します。

(1) 対象者の基礎情報：

年齢、職業、就労状況、最終学歴、家族形態、両親学級などへの参加意向、妊婦健診への同行の有無

(2) 対象者の妻の基礎情報：

年齢、現病歴の有無、就労状況

(3) 対象者の妻の産科的情報：

妊娠週数、妊娠経過（胎児含む）の異常の有無

(4) 妊娠の受容と困りごと

① 妊娠の受容

② 夫が感じる困りごと

・日常生活で感じる困りごと

・制約感に関する困りごと

・妻とのコミュニケーションに関する困りごと

・自身の仕事やワーク・ライフ・バランスに関する困りごと

・妊娠・出産・育児に関する今後予想される困りごと

#### ・予想される不利益(負担・リスク)及び利益

本研究は、すでに収集済の無記名式 WEB 質問票を二次利用する観察研究であり、あなたに新たな利益や負担、不利益が生じることはありません。また、研究対象者であるあなたの経済的負担および謝礼はありません。

#### ・個人情報の管理について

本研究で使用するアンケート結果は、質問内容に個人が特定される内容（氏名、メールアドレス、かかりつけ医など）は含まれていません。

また、本研究の実施過程及びその結果の公表（学会や論文等）の際には、あなたを特定できる情報は含まれません。この研究により得られた結果を、国内外の学会や学術雑誌及びデータベース上で、発表させていただく場合がありますが、あなたの情報であることが特定されない形で発表します。

#### ・情報の保管及び廃棄

回答期間終了後、研究分担者が回答をダウンロードし、WEB アンケートを削除しております。ダウンロードした情報はパスワードをつけて専用の USB メモリーに保存し、研究責任者（國清）研究室の施錠可能な棚に保管しています。情報の保存期間は 2039 年 3 月 31 日までとし、保管期間終了後にダウンロードした情報は消去します。

情報管理責任者：群馬大学大学院保健学研究科 准教授 國清恭子

#### ・研究成果の帰属について

本研究により得られた結果が、特許権等の知的財産を生み出す可能性があります。その場合の特許権等は研究者もしくは所属する研究機関に帰属することになり、あなたにこの権利が生じることはありません。

#### ・研究資金について

本研究は、研究責任者 國清恭子の運営交付金を用いて実施する予定であるため、特定の企業からの資金提供は受けておりません。

#### ・利益相反に関する事項について

研究グループが公的資金以外に製薬企業などからの資金提供を受けている場合に、臨床研究が企業の利益のために行われているのではないか、あるいは臨床研究の結果の公表が公正に行われないのではないか（企業に有利な結果しか公表されないのではないか）などといった疑問が生じることがあります。これを利

益相反（患者さんの利益と研究グループや製薬企業などの利益が相反している状態）と呼びます。この研究の利害関係については、群馬大学利益相反マネジメント委員会の承認を得ております。また、この研究過程を定期的に群馬大学利益相反マネジメント委員会へ報告などを行うことにより、この研究の利害関係について公正性を保ちます。

・「群馬大学 人を対象とする医学系研究倫理審査委員会」について

本研究を実施することの妥当性や方法については、多くの専門家によって十分検討されています。群馬大学では人を対象とする医学系研究倫理審査委員会を設置しており、この委員会において科学的、倫理的に問題ないかどうかについて審査し、承認を受けています。

・研究組織について

本研究は、群馬大学大学院保健学研究科 准教授 國清恭子と博士前期課程 2年 青木佳奈が主体となって行っています。

本研究を担当する研究責任者、研究分担者は以下のとおりです。

研究責任者

職名 群馬大学大学院保健学研究科 准教授  
氏名 國清恭子  
連絡先 群馬大学大学院保健学研究科國清研究室  
群馬県前橋市昭和町 3-39-22  
電話：027-220-8956  
E-mail：kunikiyo@gunma-u.ac.jp

研究分担者

- ・職名 群馬大学大学院保健学研究科 博士前期課程 2年
- 氏名 青木佳奈
- 連絡先 群馬大学大学院保健学研究科國清研究室  
群馬県前橋市昭和町 3-39-22  
E-mail：h241a012@gunma-u.ac.jp
- ・篠崎博光 群馬大学大学院保健学研究科 教授
- ・新井陽子 群馬大学大学院保健学研究科 教授
- ・深澤友子 群馬大学大学院保健学研究科 助教
- ・黒川友香子 群馬大学大学院保健学研究科 博士前期課程 2年

・研究対象者の権利に関して情報が欲しい場合あるいは健康被害が生じたときに連絡をとるべき相談窓口について

研究対象者がこの研究および研究対象者の権利に関してさらに情報が欲しい場合、または研究対象者に健康被害が発生した場合に、研究対象者が連絡をとる担当者は下記のとおりです。何かお聞きになりたいことがありましたら、どうぞ遠慮なくいつでもご連絡ください。なお、本研究は既存データの解析のみを行うため、健康被害が生じることは想定されません。

情報を研究に用いることについて、対象者となることを希望されない方は、下記連絡先までご連絡ください。研究対象者とならない場合でも不利益が生じることはありません。なお、本研究で使用するデータは完全匿名で収集されているため、個別の回答を特定して利用停止することはできません。

【問合せ・苦情等の相談窓口（連絡先）】

所属・職名：群馬大学大学院保健学研究科 准教授

氏名： 國清恭子

連絡先：〒371-0034 群馬県前橋市昭和町 3-39-22

Tel：027-220-8956

E-mail：kunikiyo@gunma-u.ac.jp

上記の窓口では、問合せ・苦情等の他、次の事柄について受け付けています。

- (1) 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法 ※他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。
- (2) 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続（手数料の額も含まれます。）
- (3) 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明。ただし、本研究は対応表のない匿名データを用いているため、個別の開示・訂正等には対応できません。
- (4) 研究対象者から提供された情報の利用に関する通知
  - ①情報の利用目的および利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）
  - ②利用し、または提供する情報の項目
  - ③利用する者の範囲
  - ④情報の管理について責任を有する者の氏名または名称

- ⑤研究対象者またはその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される情報の利用または他の研究機関への提供を停止すること、およびその求めを受け付ける方法